

一、事業主側

會社側ニ於テハ解雇社員及雇員ニ對シ十月三十日ヨリ三日ニ  
直リ積立金ヲ支給スヘク書面ニテ通知ヲ發シタリ  
爭議團ニ對シテハ其後何等發表ナク推移ニ任セツ、アリテ次  
記ノ如ク爭議團ヨリ要求金額二十万圓ヲ更ニ十二万圓ニ減額  
方申込ミタルモ依然拒絶ノ方針ナリ

二、爭議團側

爭議團本部集合者ハ逐日減少ノ傾向ニアルヲ以テ首腦部ハ結  
束ニ努メツ、アルモ統制等ハナラサルモノアリ爭議團長  
齋藤常太郎ハ十月三十日團 任届ヲ提出セルニ至レルカ幹  
部ノ大部分ハ共農党本部及東京金屬労働者組合本部員ノ專断  
的行為ヲ快トセス且重要ナル會議ニ參與スルコトナク只警察  
上ノ責任ヲ轉嫁セラル、ヲ以テ叙上ノ如ク團長ノ辞任ヲ為ス  
ニ至リ後テ内部ニ動搖ヲ來シツ、アリ

叙上ノ情勢ニヨリ指導者トシテ一及瀨間己之吉等ハ青年部  
ヲ煽動シ各重役ニ對シ直接交渉ヲ為サシムヘク密謀セルニ付  
動靜嚴密内偵中ナルカ他面會社ノ態度意外ニ強硬ナルニヨリ  
最ニ提出セル要求金額二十万圓ヲ十月二十七日十二万圓ニ減  
額要求スルニ至レリ

三、中立的職工ノ動靜

既報ノ如ク本爭議ニ参加セサリシ職工約百名ハ代表者トシテ  
中村留吉外八名ヲ本社ヲ訪問セシメ長谷川事務ト會見シ「爭  
議不参加ノ吾々ノ立場ヲ諒解セラレ別途交渉方」申込タルニ  
會事務ヨリ「諸君ノ行動ニハ同情シスル旨ヲ答ヘタルニヨリ  
更ニ協議ノ上今月三十一日前記代表ハ長谷川事務ト會見シ  
（一）會社内規通ノ平當ヲ受テ退社スルニヨリ左ノ條件ヲ承認セラレタシ  
（二）爭議解決ニ際シ現在ノ支給額ヨリ多額ナルトキハ追加支給セラレタキコト  
（三）工場再開ノ場合ハ優先權ヲ與ヘ復職セシムルコト